

# 第3次湖西市地域福祉計画 評価一覧 【湖西市】

※第3次計画で「ホームページ」と表記しているため、実績も「ホームページ」と記載する。次期計画では、「ウェブサイト」と表記する。

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性	
						評価	備考	方向性	備考
(1) 地域福祉に関する意識の醸成		①広報・啓発活動の充実	1	○広報誌やホームページ、SNS等様々な媒体を用いて地域福祉活動やボランティア活動に関する情報を地域住民に提供することで、地域福祉に関する意識を高めます。	高齢者福祉課	2 ややできています	在宅福祉サービス事業等について、パンフレットの作成をし市内4包括へ配布し、相談業務を実施している。ホームページも活用し、対象者の家族にも事業内容を掲載し周知している。	1 拡充	住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、引き続き実施していく。
			1	○広報誌やホームページ、SNS等様々な媒体を用いて地域福祉活動やボランティア活動に関する情報を地域住民に提供することで、地域福祉に関する意識を高めます。	地域福祉課	2 ややできています	○福祉総務係 市ホームページに、民生委員、人権擁護委員、保護司、更生保護女性会の紹介ページを作成。更生保護女性会のシトラスリボンプロジェクトについて、広報こさい、ホームページ、SNSで広報を実施。シトラスリボンプロジェクトと湖西市赤十字奉仕団のガウン作製について情報提供し、新聞に掲載。  ○障害福祉係 障害者団体の実施する研修会等の啓発のため、広報誌やホームページへの掲載、リーフレットの配布を行っている。障害者作品展(おぼと、中央図書館)。	2 継続	様々な媒体で広報を実施する。
			2	○地域住民が地域福祉に関する正しい理解を得られるようなイベントや講座等を充実させます。	スポーツ・生涯学習課	2 ややできています	センターまつり等イベントにおいて地域福祉関係団体の参加の機会を設け、交流機会の創出に努めている。	2 継続	機会創出の場を継続して創出していく。
			2	○地域住民が地域福祉に関する正しい理解を得られるようなイベントや講座等を充実させます。	地域福祉課	2 ややできています	○福祉総務係 保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員の活動を支援した。 【保護司会】 R2年度、R3年度にお寺の行事に参加した地域住民を対象に、更生保護について啓発。(DVD上映、啓発品配布) 【更生保護女性会】 H30年度、R1年度にミニ集会を実施し、地域住民に更生保護について啓発。 【人権擁護委員】 H30年度、R1年度に年2回、店頭にて人権啓発品を配布。  ○障害福祉係 手話講習会(R2年度:17人参加)、障害者福祉について学ぶボランティア講座(R2年度:19人参加)の実施。	2 継続	関係団体と協力して継続実施する。
		②地域福祉活動への参加促進	3	○地域福祉活動に関する情報を広報誌やホームページ、SNS等を用いて発信することで、地域福祉活動への参加を促進します。	子ども家庭課	2 ややできています	子育て支援センターでは、毎月1回「のびりん通信」「子育て支援情報」をホームページに掲載している。また、市内外の公共施設や量販店等にも配架している。	1 拡充	SNS等利用することにより、情報発信を高める。
			3	○地域福祉活動に関する情報を広報誌やホームページ、SNS等を用いて発信することで、地域福祉活動への参加を促進します。	地域福祉課	2 ややできています	○障害福祉係 障害者団体の実施する研修会等の啓発のため、広報誌やホームページへの掲載、リーフレットの配布を行っている。障害者作品展(おぼと、中央図書館)。【再掲】  ○福祉総務係 更生保護女性会の広報紙「更女だより」を市ホームページに掲載している。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			4	○地域活動を行う主体との連携を強化し、情報共有を進めることで、気軽に参加できる、参加したいと思える地域活動を展開していきます。	地域福祉課	2 ややできています	○障害福祉係 相談支援事業所との連絡会1回/月実施。 障害者団体との情報交換会の実施(不定期)。	1 拡充	障害者団体と情報共有する機会を増やし、連携を強化していく。

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性				
						評価	備考	方向性	備考			
1 地域福祉意識の醸成と交流の推進		①交流機会の充実	5	○学校や地域等と協力し、あいさつ運動を全市的に推進します。	地域福祉課	1 十分にできている	○福祉総務係 保護司会と更生保護女性会のあいさつ運動の活動を支援した。  【保護司会】防犯まちづくり会議主催の、小中学校校門付近でのあいさつ運動(夏休み明け、冬休み明け)に参加。  【更生保護女性会・保護司会】社会を明るくする運動(7月)で、市内中学校の校門付近であいさつ運動を実施。(地域福祉課から学校に受入を依頼)	2 継続	新規会員・委員の確保も課題であるため、活動内容の広報等も実施していく。			
			5	○学校や地域等と協力し、あいさつ運動を全市的に推進します。	危機管理課	3 あまりできていない	防犯まちづくり会議による「あいさつ運動」を年3回始業式翌日に市内小中学校において実施。 R2年度からコロナウイルス蔓延により活動中止することが多い。R3年度は、4月と8月は中止。1月のみ実施した。	2 継続	コロナウイルス終息後は、従前の体制で活動する予定。			
			5	○学校や地域等と協力し、あいさつ運動を全市的に推進します。	スポーツ・生涯学習課	2 ややできている	学校・子ども会・青少年補導員と共に、県主催の青少年の声掛け運動の推進を行っている。  【(2)地域における交流活動の推進全般について】 「地域福祉」という言葉の堅苦しいイメージが参加しにくさの要因となっていないか。楽しいとまでは言わないまでも、気軽に参加しようと自然に思えるような仕掛けがあるとよい。	2 継続	今後も継続して実施していく。			
			5	○学校や地域等と協力し、あいさつ運動を全市的に推進します。	学校教育課	2 ややできている	各校で、あいさつ運動に取り組んでいる。児童・生徒が呼びかけるだけでなく、教職員が正門などであいさつ運動を実施している。あいさつを習慣化するためだけでなく、朝の子どもたちの健康や心の状態を確認することにもつながっている。	2 継続	あいさつは、生活の基本となることであるので、今後も継続して指導をしていく。			
			6	○ふれあい広場や社会福祉大会等、地域住民が交流を深め、支え合う地域づくりについて考えることができる機会の創出・充実に努めます。	スポーツ・生涯学習課	2 ややできている	センターまつり等イベントにおいて地域福祉関係団体の参加の機会を設け、交流機会の創出に努めている。	2 継続	機会創出の場を継続して創出していく。			
			6	○ふれあい広場や社会福祉大会等、地域住民が交流を深め、支え合う地域づくりについて考えることができる機会の創出・充実に努めます。	地域福祉課	2 ややできている	○福祉総務係 【更生保護女性会】 H30年度、R1年度:あらいじやんに参加して、バザーと啓発品配布を行った。 【民生委員児童委員協議会】 ふれあい広場に参加し、模擬店を実施。  ○障害福祉係 障害者団体への補助金助成を行い、障害やその家族の交流、地域住民との交流活動の実施を促進している。家族会への加入者の減少、会員の高齢化が課題となっている。	3 見直し・検討	障害者の家族会の高齢化やコロナ禍での活動の実施等、事業展開の方法について見直しが必要。			
			7	○市民が地域活動やイベントに関心を持てるよう、活動組織や活動事業所との連携を図り、PR活動を推進します。	地域福祉課	2 ややできている	○障害福祉係 障害者団体の実施する研修会等の啓発のため、広報誌やホームページへの掲載、リーフレットの配布を行っている。 障害者作品展示(おぼと、中央図書館)。【再掲】	2 継続	今後も継続して実施していく。			
			8	○学校や地域と連携し、多様な交流機会を創出・充実させることで、地域福祉に関する意識の醸成を図ります。	地域福祉課	2 ややできている	○福祉総務係 更生保護女性会、人権擁護委員の活動を支援した。 【更生保護女性会】 小学校1年生に手作りの「愛の鈴」を贈呈。 【人権擁護委員】 市内幼稚園、保育園、こども園、小中学校、社会福祉施設等で人権教室を実施。  ○障害福祉係 障害者団体の実施する研修会等の啓発のため、広報誌やホームページへの掲載、リーフレットの配布を行っている。【再掲】	2 継続	新規会員・委員の確保も課題であるため、活動内容の広報等も実施していく。			
				(2) 地域における交流活動の推進								

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性				
						評価	備考	方向性	備考			
②交流を通じた実践的な福祉教育			9	○障害のある人や高齢者との交流、世代間交流を促進することで、地域で助け合いながら暮らしていくための理解を深めます。	地域福祉課	2 ややできている	○障害福祉係 障害者団体の実施する研修会等の啓発のため、広報誌やホームページへの掲載、リーフレットの配布を行っている。 障害者作品展示(おぼと、中央図書館)。【再掲】	2 継続	今後も継続して実施していく。			
			9	○障害のある人や高齢者との交流、世代間交流を促進することで、地域で助け合いながら暮らしていくための理解を深めます。	高齢者福祉課	2 ややできている	老人クラブ連合会事業にて「三世代輪投げ大会」を実施して世代間の交流を実施している。ただし、R2年度はコロナ禍により大会は中止となった。 R1年度実績:参加人数225名、R1.9.14実施 介護予防事業内にて地域の通いの場「いきいきサロン」活動内にて交流事業実施。 地域主体の活動のため変動がありまた、感染症の状況にて実施ができない場合もあることが課題。 (R2年度実績:実施交流回数2回、参加人数218人(内子ども50人))	1 拡充	・老人クラブにおいて高齢者同士のつながりを作り、老人クラブの活動を通し、生きがいを発見していく。 ・はつらつセンターの利用を通し、子育て世代から高齢者まで、年齢を超えたつながりの構築の場にしていく。 ・介護予防の観点からも事業実施継続。専門職支援等強化し実施。			
			9	○障害のある人や高齢者との交流、世代間交流を促進することで、地域で助け合いながら暮らしていくための理解を深めます。	市民課	2 ややできている	世代間交流を促進するために、一般コミュニティ助成事業補助金として、お祭り用品等の整備に対する補助金を交付している。 複数の自治会から要望がある一方で採択件数が少ないため順番待ちが生じている。	2 継続	今後も継続して整備に対する補助金を行っていく。			
			③外国籍住民との関係づくり			10	○外国籍住民に対して、行政サービスの多言語化や日本語習得支援を行うことで、地域でのコミュニケーションを推進します。	市民課	1 十分できている	行政サービスの多言語化については、外国人総合窓口に通訳が配置されているポルトガル語・スペイン語、及びやさしい日本語で主に実施している。外国人市民の国籍や使用言語などが多様化しているため、ビデオ通訳サービスの活用など多言語化への対応をより一層取り組む必要がある。 日本語習得支援については、日本語教室開催事業や市内で開催されている日本語教室の周知などに取り組んでいる。市内で日本語教育に関係する様々な主体の連携が課題である。	2 継続	第3次多文化共生推進プランに基づき、取り組みを継続していく。
						11	○お互いの文化を理解するための交流機会の創出や地域行事への参画を促進することで、共に地域で生活するという意識を高めます。	市民課	2 ややできている	外国人市民とのつきあいが日常的にある日本人市民は限られているのが現状ではあるが、若い世代や外国人市民は交流を希望する人の割合が高い調査結果が出ている。 外国人市民の地域活動への理解促進が不足していること、また、地域で受け入れる側の日本人市民にも外国人市民の参画がしやすくなるような意識啓発が課題である。	2 継続	第3次多文化共生推進プランに基づき、取り組みを継続していく。
						12	○地区社協や自治会、民生委員・児童委員等と連携した、地域における日頃からの見守り活動を推進します。	地域福祉課	2 ややできている	○福祉総務係 民生委員児童委員による継続的な見守りができている。ただ、高齢者に偏っている。 地区社協の活動も高齢者に対する活動が主となっている。 ○障害福祉係 地域住民からの相談に対応し、障害特性の理解を促し、地域と行政の連携、役割分担を実施している。	1 拡充	対象を拡張していきたい。 今後も継続して実施していく。
						12	○地区社協や自治会、民生委員・児童委員等と連携した、地域における日頃からの見守り活動を推進します。	高齢者福祉課	2 ややできている	高齢者のバランスの良い食事と見守りを兼ねた配食サービスを実施している。 (R2年度実績:利用者数150人、総配食数13,563食) 高齢者の見守りとして関係団体と協定を締結し日頃からの見守りを実施している。また認知症ネットワーク(オレンジネットワーク)や認知症サポーター養成する体制を構築し、認知症を含む高齢者を見守る体制を充実させている。 見守り体制協力者の確保と体制周知が課題 (R2年度実績:協定数21、オレンジネットワーク登録数27件)	1 拡充	食事サービスを通し、高齢者の健康的な食事の支援、生活の見守りを継続していく。 見守り体制の充実。ネットワークの周知を継続し登録数の増加を目指す。

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性	
						評価	備考	方向性	備考
2 地域で支え合う仕組みづくり	(1) 地域における支え合い活動の推進	①見守り活動の推進	12	○地区社協や自治会、民生委員・児童委員等と連携した、地域における日頃からの見守り活動を推進します。	市民課	2 ややできています	自治会が行う「保健・福祉を推進する事業」を含む様々なコミュニティ活動に対して、湖西市自治会運営費交付金を交付している。  コミュニティ活動全般に対して、交付しているため、福祉事業部分についてのみの実績については把握していない。毎年41自治会に対して交付。	2 継続	今後も継続して補助金の交付を行っていく。
			12	○地区社協や自治会、民生委員・児童委員等と連携した、地域における日頃からの見守り活動を推進します。	危機管理課	2 ややできています	警察・防犯協会・地域安全推進員・防犯まちづくり会議等と連携し、キャンペーンや青色防犯パトロール等の防犯・見守り活動を実施。 (青色防犯パトロール実施回数 R1年度61回、R2年度105回)	2 継続	現状どおり活動を継続する。
			12	○地区社協や自治会、民生委員・児童委員等と連携した、地域における日頃からの見守り活動を推進します。	学校教育課	2 ややできています	登下校時の見守り活動や地域との情報交換など子どもたちの安全な登下校や生活面で地域の方に協力をいただいている。	2 継続	子どもたちの安全・安心な環境づくりは大切なことであるので、今後も継続していく。
			12	○地区社協や自治会、民生委員・児童委員等と連携した、地域における日頃からの見守り活動を推進します。	スポーツ・生涯学習課	3 あまりできていない	7月と12月に行われる県内一斉補導において、地域の青少年への声掛けを行っている。ただし、ここ2年は新型コロナウイルスの影響で参加者を限定している。	2 継続	今後の状況を見て、一斉補導の参加人数を元の数に戻していきたい。
			13	○地区社協を中心として、地域の課題を把握・解決し、地域で支え合う体制を整備します。	高齢者福祉課	2 ややできています	90歳以上の高齢者宅を湖老連単位老人クラブ内でチームを作り、訪問し話し相手や困り事など相談を受け市役所や包括につなげる支援を行っている。  包括支援センターや社会福祉協議会と協力し実施をしている。地域ケア会議や生活支援体制整備事業と連携して実施。5つの生活圏域に分けてコーディネーターを配置し、主に生活支援について地域の課題を把握検討している。ひとり暮らしや身寄りのない高齢者の増加で課題が複雑且つ困難化の傾向にあることが課題 (R2年度実績：生活支援コーディネーター配置5)	2 継続	湖老連活動を通じ、地域で支えあい見守りの継続をしていく。  包括支援センターの配置継続と生活支援コーディネーターの配置継続。
		14	○行政や社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、地域組織等によるインフォーマルサービスと公的サービスとが連携した支援体制を構築します。	地域福祉課	2 ややできています	○福祉総務係 民生委員児童委員から寄せられる地域の声を基に行政専門職又は地域包括支援センターの訪問につながっている。  ○障害福祉係 高齢者の地域での支え合いの仕組みは広がりつつあるが、障害者に対しての地域での支え合いの仕組みはできていない。	1 拡充	地域包括支援センターの対象を高齢者から全世代としていきたい。  障害者も含めた地域づくりが必要。	
		14	○行政や社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、地域組織等によるインフォーマルサービスと公的サービスとが連携した支援体制を構築します。	高齢者福祉課	2 ややできています	地域包括支援センターを配置し、高齢者の支援体制を整えている。 ひとり暮らし高齢者や困難事例が増加しており、相談体制の確保が課題。 (R2年度実績：地域包括支援センター設置数4箇所)	2 継続	地域包括支援センターの設置継続し支援を充実し継続する。 また、センターの圏域区分について、中学校区にあわせて変更をR5年度までに行う。	
		14	○行政や社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、地域組織等によるインフォーマルサービスと公的サービスとが連携した支援体制を構築します。	子ども家庭課	2 ややできています	ファミリー・サポート・センターとして市が事務局となり、育児援助を受けたい者と行いたい者を組織化し、相互援助活動を行っている。 受託会員を増やすことが課題。	2 継続	子育て支援センター等と連携しながらPR活動を行い、安定した事業運営ができるようにする。	
		15	○自治会や地域の社会福祉施設、ボランティア団体等との連携を強化し、ネットワークを構築していきます。	地域福祉課	4 ほとんどできていない	○福祉総務係 ボランティア団体で居場所づくりに尽力している団体はあるが、このような団体との連携ができていない。  ○障害福祉係 高齢者の地域での支え合いの仕組みは広がりつつあるが、障害者に対しての地域での支え合いの仕組みはできていない。	1 拡充	地域社会への参加支援として、だれもが活躍できる場づくりのために連携を深めたい。  障害者も含めた地域づくりが必要。	
		15	○自治会や地域の社会福祉施設、ボランティア団体等との連携を強化し、ネットワークを構築していきます。	高齢者福祉課	2 ややできています	社会福祉協議会と連携し、高齢者の生活支援を主にボランティア等の養成や支えあい体制を構築している。 高齢者自身も受け手としてではなく支え手として活用できるようにする仕組みづくりが課題。	1 拡充	生活支援の支えあい体制を構築する。また、高齢者も支え手になれるよう就労的支援としてコーディネーターを配置を目指す。	

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性	
						評価	備考	方向性	備考
			15	○自治会や地域の社会福祉施設、ボランティア団体等との連携を強化し、ネットワークを構築していきます。	危機管理課	2 ややできています	警察・防犯協会・地域安全推進員・防犯まちづくり会議等と連携し、キャンペーンや青色防犯パトロール等の防犯・見守り活動を実施。【再掲】 (青色防犯パトロール実施回数 R1年度61回、R2年度105回)	2 継続	現状どおり活動を継続する。
			15	○自治会や地域の社会福祉施設、ボランティア団体等との連携を強化し、ネットワークを構築していきます。	スポーツ・生涯学習課	2 ややできています	自治会から補導員を推薦していただき、毎月地区ごとの青少年補導を実施し問題点等を報告していただくことで情報共有を図っている。	2 継続	今後も継続して実施していく
		③地域の活動拠点の整備	16	○公民館や公会堂等の地域の活動拠点となる施設の整備を支援します。	市民課	1 十分できています	公会堂等の修繕や修繕に対して助成を行っている。 (公会堂の新設：H30年度1件、R2年度1件)	2 継続	今後も継続して助成を行っていく。
			16	○公民館や公会堂等の地域の活動拠点となる施設の整備を支援します。	新居支所	2 ややできています	施設のバリアフリー化、各種不具合箇所の修繕、老朽化対策等の検討。 【(1)地域における支え合い活動の推進全般について】 公共性の高いものの優先予約や高齢者、福祉、障がい者関連団体等の使用料減額等を行っている。	1 拡充	各種利用団体からの要望を聴取し、老朽箇所の修繕やバリアフリー化等の設計施工を予定している。
			17	○既存の公共施設や学校、地域資源の活用を通じて、地域の活動(※)拠点の充実を図ります。※支え合い、助け合いができる地域づくりのために住民・ボランティアが行う。	高齢者福祉課	2 ややできています	はつらつセンターや老人福祉センターなど、地域の高齢者や児童たちが自由に使えるように、開放している。利用者は高齢者団体が多く、若年層の利用率が低い。	2 継続	若年層にも幅広く利用してもらえるよう、利用方法や申請方法を周知する。 幅広い世代で交流できるようにする。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	新居支所	2 ややできています	公共性の高いものの優先予約や高齢者、福祉、障がい者関連団体等の使用料減額等を行っている。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	市民課	2 ややできています	市民活動センターの要綱、利用規約、手引きを整備し市ホームページによる周知を行っている。また、随時改訂を行っている。	2 継続	今後も利用について周知するとともに、必要が生じた場合には見直しを行う。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	スポーツ・生涯学習課	2 ややできています	自治会や子ども会など地域の公共的団体においては、使用料の減免適用などの活動支援を行っている。 社会教育関係団体においては、使用料の減免のほか、施設倉庫の利用や、印刷機の低額利用などの活動支援を行っている。 【(1)地域における支え合い活動の推進全般について】 活動拠点の西部はもちろん重要であるが、そこで活動する地域住民の支え合いに対する意識の向上も必要である。興味・関心がなければ人は集まらない。地域の支え合いに関心を促すような仕掛けが必要である。	2 継続	継続して地域の活動拠点として有効な利用環境を維持する。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	図書館	2 ややできています	自治会や子ども会など地域の公共的団体においては、使用料の減免適用などの活動支援を行っている。	2 継続	継続して地域の活動拠点として有効な利用環境を維持する。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	高齢者福祉課	2 ややできています	自治会、老人クラブ、市子連等の事業活動を実施するために減免にて施設を提供している。利用申請のオンライン化について、利用団体のほとんどが高齢者のため、操作に困難をきたすことや、利用日が重複することがないため、導入は考えていない。	2 継続	用途や制限の見直しを図りながら、利用しやすい環境づくりに努める。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	子ども家庭課	2 ややできています	地域子育て支援の拠点でもある子育て支援センターでは、乳幼児を持つ子育て家庭を応援するための事業が展開されている。	1 拡充	指定管理制度の導入等、さらなる市民サービス拡充の取組を実施する。
			18	○公共施設の用途や制限を見直すとともに、利用者・団体間の利用調整ルールを確立します。	健康増進課	1 十分できています	健康福祉センターについては、平成30年10月から利用料を無料から有料にすることに伴い利用者の制限をなくした。しかし、ボランティア団体専用の部屋は確保しており、ボランティア団体であれば他の団体に影響されることなく利用できる。また、施設利用免除施設は別に定めている。	4 完了	3か月前から予約が可能で、先着順である。
			19	○地域福祉活動やボランティア活動を行っている方を対象としたスキルアップ講座を開催し、リーダーを育成します。	子ども家庭課	2 ややできています	ファミリー・サポート・センター受託会員に対し、年3回程度スキルアップ講習会を行い、受託会員のスキル向上の一助となっている。受託会員の確保が課題。	2 継続	スキルアップ講座は同程度で継続、中身の充実を図っていく。

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性	
						評価	備考	方向性	備考
(2) 地域福祉を担う人材の育成		①人材発掘及び育成	20	○地域活動を行う団体等と連携し、地域福祉活動やボランティア活動のPRを行います。	地域福祉課	2 ややできています	○障害福祉係 広報誌、ホームページ、窓口でのリーフレットの配布によりボランティア活動のPRを実施。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			21	○ボランティア講座等を通じて、新たな地域福祉を担う人材の発掘に努めます。	地域福祉課	2 ややできています	○障害福祉係 手話講習会(R2年度:17人参加)、障害者福祉について学ぶボランティア講座(R2年度:19人参加)の実施。	2 継続	今後も継続して実施していく。
		②地域貢献活動の啓発	22	○地域住民、福祉施設、ボランティア団体、企業等の地域を構成する主体に対して地域福祉に関する啓発を行い、地域福祉活動への参加を促進します。	地域福祉課	4 ほとんどできていない	○福祉総務係 地域の生活課題を解決するため、地域の主体(地域資源)を巻き込んだ活動をすべきであるが、できていない。  ○障害福祉係 地域貢献活動への提案は出来ていない。	1 拡充	地域資源の活用・創出
(1) 福祉サービスの充実		①生活支援サービスの充実	23	○障害者、高齢者、生活困窮者等に対する生活支援サービスの充実を図るとともに、サービスの周知を通じた利用促進を図ります。	地域福祉課	3 あまりできていない	○障害福祉係 65歳以上の障害者は生活支援サービスの利用ができるが、現時点では65歳未満の障害者が利用できる仕組みがない。  ○保護係 市広報誌やホームページ等での各種制度の紹介だけでは、支援を必要とする者へのサービス利用に繋がっていない。	3 見直し・検討	地域で生活する65歳未満の障害者の利用について検討。 アウトリーチ型の支援体制の構築。
			23	○障害者、高齢者、生活困窮者等に対する生活支援サービスの充実を図るとともに、サービスの周知を通じた利用促進を図ります。	高齢者福祉課	2 ややできています	配食サービスや緊急通報システムなど在宅福祉サービスを実施。  高齢者の生活支援体制整備を実施。 高齢者も支え手となる助け合い体制構築が課題。	1 拡充	在宅福祉サービスの対象者を適宜見直し、より高齢者が在宅で暮らしやすくなる環境構築を目指す。 高齢者の生活支援体制整備の構築。市内に1箇所コーディネート機能を設け、高齢者が受け手だけでなく支え手としても活躍できる体制構築を目指す。
			23	○障害者、高齢者、生活困窮者等に対する生活支援サービスの充実を図るとともに、サービスの周知を通じた利用促進を図ります。	子ども家庭課	2 ややできています	年1回広報こさいにて、ひとり親家庭などへの支援制度をお知らせしている。また、ホームページでひとり親に関する支援制度を紹介している。	2 継続	今後も、広報こさいやホームページを活用し、ひとり親支援制度の周知を図る。
			23	○障害者、高齢者、生活困窮者等に対する生活支援サービスの充実を図るとともに、サービスの周知を通じた利用促進を図ります。	建築住宅課	2 ややできています	市営住宅の募集案内を行っている。また、60歳以上の方や身体障害等を持っている方で一人で生活が可能な方について、単身入居可としている。窓口での案内やホームページでの周知を実施。	2 継続	今後も継続する。
			24	○関係機関や専門機関等と連携し、ライフステージや個に応じた支援を行います。	地域福祉課	3 あまりできていない	○福祉総務係 支援を必要とする人に対する真に必要な支援にたどりつけていない。  ○保護係 支援調整会議等を通して関係機関との情報共有を行っているが、困窮者の自立に結びついていない。	1 拡充	一人ひとりのニーズにあった真に必要な支援にたどりつくアセスメント力を向上させる。  関係機関が責任と自覚を持ち、それぞれが保有するサービスや知見を出し合って対象者の支援を実施する。
		25	○近隣市町や県と連携・協力することで、市単独では対応が難しいニーズに対応します。	全課	4 ほとんどできていない	実績報告なし	3 見直し・検討		
		26	○判断能力が十分でない高齢者や障害者の権利を守るために、成年後見制度や日常生活支援事業等に関する研修会や説明会を行い、利用を促進します。	地域福祉課	2 ややできています	○障害福祉係 障害者相談支援事業所と連携を図りながら、成年後見制度の利用についての啓発・相談に応じている。	2 継続	今後も継続して実施していく。	
		26	○判断能力が十分でない高齢者や障害者の権利を守るために、成年後見制度や日常生活支援事業等に関する研修会や説明会を行い、利用を促進します。	高齢者福祉課	3 あまりできていない	年に1度、市民向けの成年後見人の説明会を行っている。	2 継続	講演会等を通し、市民の成年後見人等の理解を深めて、市民後見人が活躍できる環境を構築していく。	
		27	○社会福祉協議会や福祉サービス提供事業所と連携し、サービス利用者が不利益を被らないように、支援を行います。	地域福祉課	3 あまりできていない	○障害福祉係 精神障害のある方の場合、日常生活支援事業の利用を断られるケースもあり、課題となっている。	2 継続	今後も継続して実施していく。	
		27	○社会福祉協議会や福祉サービス提供事業所と連携し、サービス利用者が不利益を被らないように、支援を行います。	高齢者福祉課	2 ややできています	成年後見制度利用について、窓口にてパンフレット等での案内、市内4包括窓口でも相談できる体制を行っている。	1 拡充	今後も制度について周知するとともに、社協、包括と連携を図り、利用の方が相談できる体制を整える。	

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性	
						評価	備考	方向性	備考
3 人にやさしい環境づくり	(2) サービスが利用しやすい環境の整備	①相談しやすい環境の整備	28	○警察や関係機関等と連携し、高齢者や障害者、子ども等への虐待の未然防止・早期発見に努めます。	地域福祉課	2 ややできている	○障害福祉係 障害者施設や計画相談事業所による見守り、情報提供の他、電話・窓口相談等、虐待の防止、早期発見に努めている。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			28	○警察や関係機関等と連携し、高齢者や障害者、子ども等への虐待の未然防止・早期発見に努めます。	高齢者福祉課	2 ややできている	警察や関係機関からの情報提供を受け、事実確認を行い、必要に応じコア会議を行っている。	1 拡充	警察や関係機関等の役割を明らかにし、より素早く対応ができるような環境を構築していく。
			28	○警察や関係機関等と連携し、高齢者や障害者、子ども等への虐待の未然防止・早期発見に努めます。	子ども家庭課	2 ややできている	湖西市要保護児童対策地域協議会を設置し、定期的に情報交換をする場を設けているが、実務者会議については形骸化している部分もあり、参加者の積極的な発言を促していくことが課題。	1 拡充	出席者の範囲・専門部会の設置を検討する。 個別ケース検討会議の頻度を増やす。
			29	○地区社協や民生委員・児童委員等と連携し、困ったことを気軽に相談できる環境を整備します。	地域福祉課	2 ややできている	○福祉総務係 【保護司会】 R1年度に、湖西地区更生保護サポートセンターを開所。(健康福祉センター内、第2、第4月曜) 保護観察対象者との面談や、新任保護司の相談場所としての機能等がある。 【人権擁護委員】 第3水曜に健康福祉センター内で人権面談相談を実施(R2年度～コロナ感染対策で中止) 【民生委員児童委員】 地域において相談に応じている。  ○障害福祉係 窓口や電話相談の他、障害者相談支援事業所の設置を行っている。	1 拡充	高度なアセスメントができる人材育成。
			30	○関係機関や専門的な知識を持つ主体と連携することで、地域における多種多様な課題に対応できる相談体制を構築します。	地域福祉課	2 ややできている	保健師、精神保健福祉士、社会福祉士等、専門職を配置し、相談を実施している。	1 拡充	高度なアセスメントができる人材の配置。多機関協働体制の構築。
			31	○生活困窮や若年無職者等の問題にも対応できる相談体制を充実するとともに、適切な支援へと繋がります。	地域福祉課	2 ややできている	○保護係 幅広い知識を持ち、相談経験が豊富な相談員の確保が困難である。	1 拡充	長期的かつ継続的な伴走的支援が自立支援としてできるようにしたい。
			31	○生活困窮や若年無職者等の問題にも対応できる相談体制を充実するとともに、適切な支援へと繋がります。	産業振興課	2 ややできている	若年者就労支援事業として、当事者やその家族、民生委員などを対象として、年2回セミナー及び個別相談を実施。(R2年度セミナー参加者延べ29名)	2 継続	継続して実施していく。
			32	○相談者のプライバシーに配慮した相談窓口の充実を図ります。	地域福祉課	3 あまりできていない	○障害福祉係 相談室の確保ができず、相談の内容が他者に聞こえてしまう。	3 見直し・検討	相談室の確保が必要。
			33	○広報誌、ホームページ、SNS等の様々な情報媒体を利用し、福祉サービスに関する情報を、わかりやすく伝えます。	地域福祉課	2 ややできている	○障害福祉係 広報誌、ホームページ等で周知している。視覚障害者向けに音訳の広報誌、福祉のしおりも発行している。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			34	○日頃の相談や意識調査等を通じて、地域住民が必要としている情報の把握に努めます。	地域福祉課	2 ややできている	○障害福祉係 窓口や関係事業所を通じ、情報把握に努めている。障害福祉計画の作成と合わせ、意識調査も実施している。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			35	○公共職業安定所(ハローワーク)等の関係機関と連携し、市内の就労に関する情報発信を行います。	地域福祉課	3 あまりできていない	○障害福祉係 障害者雇用についての情報把握ができていない。  ○保護係 生活保護受給者、生活困窮者、ひとり親世帯の中で就労に向けて支援が必要な者に、ハローワークの就労自立促進事業へ送り出しを行っているが、要支援者の選定が困難になっている。	3 見直し・検討	○障害福祉係 ハローワークと情報交換を行い、お互いの障害者に関するサービスについての理解を深める必要がある。  ○保護係 ハローワークの相談窓口への利便性を強化する。
35	○公共職業安定所(ハローワーク)等の関係機関と連携し、市内の就労に関する情報発信を行います。	産業振興課	1 十分できている	湖西市地域職業相談室(新居地域センター)にて、職業相談※と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 【R2年度職業相談】求人求職等相談7,605件、職業紹介1,193件	2 継続	継続して実施していく。			

基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性		
						評価	備考	方向性	備考	
(3) 安心して暮らせる環境の整備	①防犯・防災活動の推進	○見守り活動等の地域における防犯活動につながる活動を支援するとともに、活動内容のPRを行います。	36	○見守り活動等の地域における防犯活動につながる活動を支援するとともに、活動内容のPRを行います。	スポーツ・生涯学習課	3	あまりできていない	7月と11月に行われる県内一斉街頭キャンペーンにおいて、地域の青少年健全育成についてPRしている。ただし、ここ2年は新型コロナウイルスの影響で参加者を限定している。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			36	○見守り活動等の地域における防犯活動につながる活動を支援するとともに、活動内容のPRを行います。	危機管理課	2	ややできている	防犯活動に使用するのぼり旗の供与、地域における青色防犯パトロール活動の支援等を実施。	2 継続	現状どおり活動を継続する。
			37	○関係機関等と連携し、防犯に関する情報提供を積極的に行い、地域の防犯意識を高めます。	スポーツ・生涯学習課	2	ややできている	毎月1回程度、市内8地区において青少年補導員によるパトロールを実施している。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			37	○関係機関等と連携し、防犯に関する情報提供を積極的に行い、地域の防犯意識を高めます。	地域福祉課	2	ややできている	○福祉総務係 民生委員定例会にて、警察署が交通安全や防犯に対する情報を提供し、地域の防犯意識を高める場としている。	2 継続	今後も継続して実施していく。
			37	○関係機関等と連携し、防犯に関する情報提供を積極的に行い、地域の防犯意識を高めます。	危機管理課	2	ややできている	警察・防犯協会等と連携し、キャンペーンや青色防犯パトロール等の防犯・見守り活動を実施。	2 継続	現状どおり活動を継続する。
			38	○避難行動要支援者名簿の整備を行い、自主防災会や民生委員等と情報共有を行い、災害時・緊急時に迅速な対応が行える体制を整備します。	地域福祉課	2	ややできている	○福祉総務係 避難行動要支援者名簿を年3回更新し、自治会と民生委員に提供した。自主防災会には、自治会経由で提供した。	1 拡充	地域と連携し、個別避難計画の作成を推進する。
			38	○避難行動要支援者名簿の整備を行い、自主防災会や民生委員等と情報共有を行い、災害時・緊急時に迅速な対応が行える体制を整備します。	危機管理課	3	あまりできていない	名簿の整備及び共有はできているが、地域等での活用が十分になされていない。	3 見直し・検討	(要支援者対策班である地域福祉課を中心に) 避難行動要支援者名簿がより有効に活用されるよう、個別避難計画の検討を行う。
			39	○ハザードマップ等を活用した防災に関する学習機会を充実させ、地域における防災意識を高めます。	危機管理課	2	ややできている	出前講座等の機会を通して、地域の防災意識向上に努めている。 なお、令和2年度は新型コロナウイルス蔓延により活動回数が減少している。 (出前講座実施数 R1年度 45件 受講者 3354人、R2年度 9件 受講者 579人)	2 継続	現状どおり活動を継続する。
			40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	文化観光課(海湖館)	3	あまりできていない	車椅子利用者の駐車場から釣り桟橋への動線確保が課題。	3 見直し・検討	利用者の要望をもとに、安全性を考慮しながら検討する。
		40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	文化観光課(道の駅瀬見坂)	2	ややできている	R4年度の改修でテラス出口のドアを自動化する予定。	2 継続	利用者の要望等を参考に必要があれば随時検討していく。	
		40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	文化観光課(新宮開所史料館)	2	ややできている	R2年度に史料館入り口の手すり付きスロープを改修。	2 継続	施設故障修繕に合わせ、ユニバーサルデザイン化の仕様で改修する。	
		40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	文化観光課(伊国宮資料館)	4	ほとんどできていない	指定有形文化財であるため施設の改修は難しい。	2 継続	サイン看板など指定の規制のない部分について、施設故障時に改修する。	
		40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	文化観光課(おんやど白濱館)	3	あまりできていない	公共施設再配置計画で統合検討対象施設であるため、大規模な施設改修は行っていない。	3 見直し・検討	公共施設再配置計画で統合対象施設であるため、大規模な施設改修は行う予定がない。	
		40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	資産経営課	2	ややできている	市役所庁舎へのアプローチとしてスロープを設置している。 また、多目的トイレを1箇所設置している。 庁舎エレベーターが車いす対応となっていないため、2,3階へのアクセスが課題である。  【(3) 安心して暮らせる環境の整備全般について】 公共施設のユニバーサルデザイン化は積極的に進めるものと考え、庁舎等築50年を迎えるような建物では、限られた対応しかできない。	2 継続	現状、必要最小限の対応となっているが、エレベーターの改修が構造上できないため、現状維持とする。	
		40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	新居支所	3	あまりできていない	築年数が経過し現行法律上不適格や是正等の指摘箇所の改修及びユニバーサルデザイン化に対応する措置が必要。	3 見直し・検討	各種利用団体からの要望を聴取し、老朽箇所の修繕やバリアフリー化等の設計施工を予定している。	



基本目標	基本施策	取り組み	No.	取り組みの内容	回答課	現状と課題		今後の方向性	
						評価	備考	方向性	備考
		②ユニバーサルデザインのまちづくり	40	○公共施設のユニバーサルデザイン化を推進し、既存の施設に関しては緊急性の高いものから改修を行います。	スポーツ・生涯学習課	2 ややできている	西部地域センター・北部多目的センターにおいてはエレベーター、階段手摺、貸室の引き戸化など整備済である。 【(3)安心して暮らせる環境の整備全般について】設備のユニバーサルデザイン化に限らず、様々な側面において財政面との調整が必要となるため、希望通りにはならない現状がある。	2 継続	照明設備のLED化やトイレの和式から洋式便座への更新などは、継続して利用しやすい環境整備に努める必要がある。
	41		○事業者に対してユニバーサルデザインの考え方の周知を図り、誰もが利用しやすい施設整備の推進を図ります。	企画政策課	1 十分できている	をとりまとめ、公共施設ユニバーサルデザイン化を推進している。 【(3)安心して暮らせる環境の整備全般について】ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるために啓発活動を行い、ユニバーサルデザイン化の整備を行なっているが、法令上は努力義務であることから整備面において必ずしも進んでいるわけではない。	2 継続	静岡県市町村振興協会の助成金を活用し、引き続き各公共施設ユニバーサルデザイン化を推進する。	
	41		○事業者に対してユニバーサルデザインの考え方の周知を図り、誰もが利用しやすい施設整備の推進を図ります。	※文化観光課(海湖部)	2 ややできている	テント等で車椅子が安全に通行するためのスペースが確保できていない。	2 継続	施設利用事業者に、誰でも利用しやすいよう十分な通路確保を依頼する。	
	41		○事業者に対してユニバーサルデザインの考え方の周知を図り、誰もが利用しやすい施設整備の推進を図ります。	※文化観光課(道の駅南見知)	2 ややできている	理解は十分にできているが整備状況は完璧ではない。	2 継続	利用者の要望等を参考に必要があれば随時検討していく。	
	41		○事業者に対してユニバーサルデザインの考え方の周知を図り、誰もが利用しやすい施設整備の推進を図ります。	※文化観光課(新居町史料館)	3 あまりできていない	R3年度にUDフォントのサイン看板を作成した。	2 継続	施設故障修繕に合わせ、ユニバーサルデザイン化の仕様に改修する。	
	41		○事業者に対してユニバーサルデザインの考え方の周知を図り、誰もが利用しやすい施設整備の推進を図ります。	※文化観光課(伊豆国資料館)	3 あまりできていない	指定有形文化財であるため施設のUD化改修は難しい。	2 継続	施設故障修繕に合わせ、ユニバーサルデザイン化の仕様に改修する。	
	41		○事業者に対してユニバーサルデザインの考え方の周知を図り、誰もが利用しやすい施設整備の推進を図ります。	※文化観光課(おんやど白根町)	3 あまりできていない	H30～R3年度大規模な施設改修は実施していない。	2 継続	施設故障修繕に合わせ、ユニバーサルデザイン化の仕様に改修する。	
	42		○歩道の段差解消、歩道幅員の確保等、誰もが安全に通行できる道路環境の整備に努めます。	土木課	2 ややできている	H30～R2年度までに161mの歩道整備を行った。これにより歩行者の安全を確保し、道路環境の改善がされた。課題は事業費の確保で、道路の整備には多額の費用を要する。	2 継続	限られた予算の中で成果が出せるように事業に取り組んでいく。	
	42		○歩道の段差解消、歩道幅員の確保等、誰もが安全に通行できる道路環境の整備に努めます。	危機管理課	1 十分できている	防犯灯の整備を行い道路環境の整備に努めている。(R2年度未現在設置数 4987基)	2 継続	ESCO事業者との契約期間であるR10年度まで年間ベース25基で新設する予定。	

### ■ 現行計画に載っていない新たな取り組み

基本目標	基本施策	施策の項目	取り組み
1 地域福祉意識の醸成と交流の推進	(2) 地域における交流活動の推進	地域交流による孤立化回避	見えない支援を必要とする人の掘り起しと継続的な訪問（寄り添い支援）